

大喜工務店 -滋賀-

自然素材が囲む 2階リビングに 3世帯がゆったり集える家

滋賀・大津市 清水さんの家

家族構成/夫34歳 妻33歳 長女3歳 父63歳 母68歳 姉35歳 姪5歳



広々とした空間を実現するためLDKを2階に配置し、ロフトを併設した大きな吹き抜けて開放感を際立たせた。梁から吊した手づくりのブランコは子どもたちのお気に入りの遊び場に



③「寝転んで屋根の構造を見上げるとすごく気持ちいいんです」と夫が自慢するLDK。床は杉無垢フローリング、壁は大喜工務店オリジナルの珪藻土を採用 ④間仕切りをフルオープンにすればLDKの延長として使える和室。ガラスをはめ込んだ造作の建具は、過去の大喜工務店の実例を参考に夫妻がデザインの希望を伝えたもの



夫妻の寝室の外側に設けた、奥行き2.7mのウッドデッキ。「庭でバーベキューをしてここでお昼ご飯を食べたり、夜にくつろぎながらお酒を飲んだりしています」と夫



①高度地区の高さ制限ぎりぎりに設計し、妻部分の中心をずらして設計。南側の庇やバルコニーは夏の日射を防ぐ効果も ②大容量の下駄箱を設けるなど、玄関ホールもゆとりを持たせた

大きな吹き抜けのある開放的な暮らしを実現
両親や姉世帯と計7人で暮らすため、土地探しから始めた清水さん夫妻。並行して多くの建築会社を見たものの、内容の割に価格が高すぎたり、構造に納得できなかつたり。そんなとき見つけた大喜工務店のホームページ。そこに記された熱い思いに興味を持ち、半信半疑で訪れたと夫は振り返る。「強度や断熱性へのこだわりなどの話を聞き、材木置き場にも案内していただいて、これは本物だと確信。実際に住んでいる方の家も見せていただくと、空気の気持ちよさに感動したんです」
すぐに依頼を決めると、土地も大喜工務店に厳しい目でチェックしてもらって選び、設計にあたっては夫が仕事から帰った夜に何度も打ち合わせを重ねた。「土地の広さや予算の制約がある中、それぞれの個室を確保しつつ、家族みんなが集まれる大空間をつくりたいと思いました」
そう語る夫妻の希望をかなえたのが、全体を吹き抜けた2階リビングのプラン。リビングと一体化できる和室もあり、縦横に大きく視界が広がる。開放感あふれる半面、冬の寒さを心配した夫妻だが、優れた断熱性と南からの日当たりで暖かい。また、夏は吹き抜け上のロフトの窓を開けると、心地よい風が吹き抜けるという。

[大喜工務店]

上質の檜材を産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて使用。3階建て基準のベタ基礎や2階でもグランドピアノが置ける仕様を標準とし、すべての家が基準の1.5倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた「無添加骨太高断熱住宅」を推進。大手建築会社に勤める幹部から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。

DATA

社名/大喜工務店
代表/藤田喜代次
住所/〒527-0087
滋賀県東近江市平田町764
☎0748-22-0028
年間建築棟数/新築22棟
社員数/7名
建築地域/滋賀県
設立/1952年1月
定休日/無休
アフターメンテナンスの対応
・随時



6寸角、8寸角、1尺角の檜材は、産地の東濃地方から直接仕入れて自社で長期自然乾燥。「強度に優れた良材のみを厳選して使います」と社長の藤田喜代次さん

COMMENT

過剰と思われるほどこだわった質の高い住まいを、経営努力で価格を抑えて提供することが私たちの使命です。設計にもじっくりと時間を費やし、100%納得いただけるまでお付き合いします。



藤田英喜

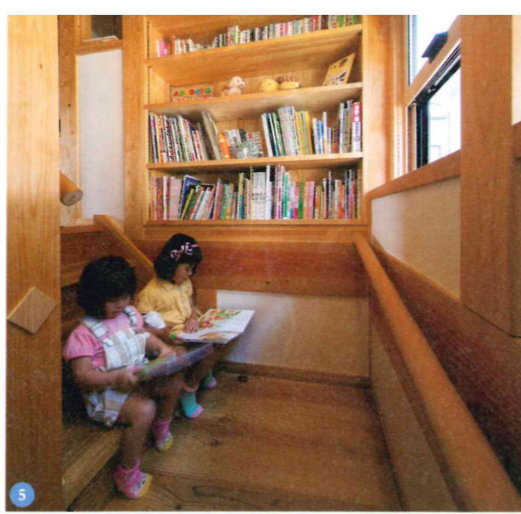
大喜工務店で100軒以上の住宅設計経験を持つ一級建築士。見た目のデザインだけではなく、生活スタイルを聞くことから始め、幅広い提案を行う。同じく一級建築士である社長とともに家づくりの全工程に携わる

[CHECK POINT]

金魚の絵柄をあしらった信楽焼の洗面ボウル



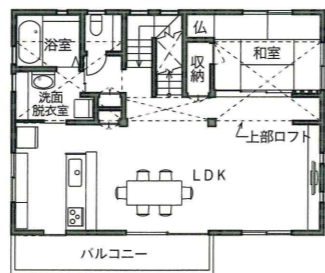
「それぞれの個室がある1階にも手や顔を洗える場所があると便利だと思い、洗面台をつくっていただきましたが、ポイントは信楽焼のボウル。大喜工務店さんの知人の陶芸家さんにお話し、お気に入りの金魚の絵を描いていただきました」(夫)



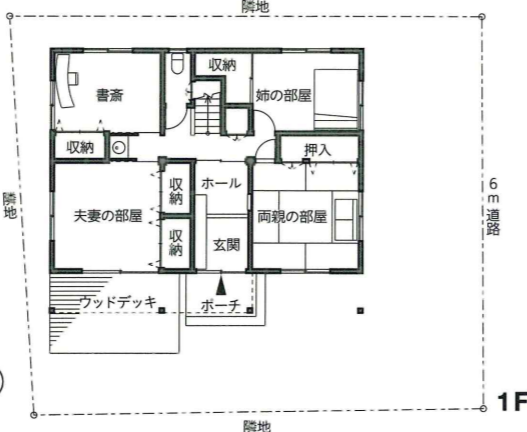
③階段の踊り場に本棚を設置。階段に腰掛けて気軽に読書が楽しめる ④ケヤキのカウンターを造作した書斎。将来は子ども部屋を想定 ⑦1階の洗面台



⑧大小2面の窓を設けた両親の和室 ⑨夫の姉と子どもの洋室。猫3匹を飼っているため床が傷みにくいメープル材を選んだ ⑩壁1面にクロゼットを造り付けた清水さん夫妻の寝室。大きな窓を隔ててウッドデッキとつながる



2F



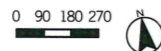
1F

DATA

敷地面積/200.12㎡(60.64坪)
延床面積/148.36㎡(44.96坪)
1階/74.18㎡(22.48坪)
2階/74.18㎡(22.48坪)
用途地域/第1種中高層住居専用地域
建ぺい率/60%
容積率/200%
構造/木造軸組工法
本体工事費/2500万円
竣工/2015年8月

INSTRUMENTS

キッチン/パナソニック
窓・サッシ/三協アルミ
LDの照明器具/コイズミ



大空間なのに冬は暖かく夏は涼しく過ごせます



①ロフトからLDKを見下ろす。夜はスポットライトの光で、落ち着いた雰囲気表情を変える ②東西に振り分けられたロフト。一方は子どもたちの遊び場、もう一方は物置に ③・④「調理をしながら子どもの姿を見守れます」と妻が語るキッチンは、ダイニング側の木製カウンターを低めに造作。バルコニー側に引き戸の勝手口を設けるなど家事効率にも配慮した

「視線が抜けると空間が広く見えるから」(夫)と、ロフトへの階段は壁で囲まず木製格子に



[CHECK POINT]

骨太構造を象徴する8寸角の大黒柱が2本

ひと際目を引く2本の大黒柱は8寸角の檜材を使用し、「友人が遊びに来てても圧倒的な存在感に必ず驚かすね。まさにこの家の強さの象徴。つやのある見た目の雰囲気も気に入っています」と夫。東濃産の良材を現地から大喜工務店が直接仕入れ、自社の倉庫で長い年月をかけて自然乾燥させることで、強度をさらに高めている。樹齢100年以上のベイ松の梁などと併せて、長く安心して住み続ける住まいを実現。

